

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 エフェソの信徒への手紙 5:14	讃 美 歌 522 みちにゆきくれし
讃 美 歌 68 父なるみかみに	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 詩編 41:10~11	主の祈り 564
使徒言行録 1:15~19	讃 詠 545 父のみかみに
讃 美 歌 187 主よ、いのちの	祝 禱
説 教 『兄弟ユダの痛々しさ』	後 奏

使徒たちは復活したイエスと 40 日を過ごし(使徒 1:3~4)、天へ昇るイエスを見送った(1:9)。そしてまもなく、十字架刑の過越祭から 50 日後の五旬祭(ペンテコステ)を迎える。五旬祭の日、弟子たち一同に聖霊が降臨する(2:1~3)。今日はその備えとして使徒「ユダとは何だったのか」を改めて思い巡らそう。

ペトロは立ち上がり、数が増えた兄弟(姉妹)に語った。「ユダはわたしたちの仲間の一人であり、同じ任務を割り当てられていた(1:17)」。ところが「イエスを捕えた者たちの手引きをした(1:16)」。その結果、裏切りの報酬で買った土地に「まっさかさまに落ちて、体が真ん中から裂け、はらわたがみな出てしまった(1:18)」。存在がバラバラになり「終りの日の復活」はもう望めないという意味だろう。

「ユダについては、聖霊がダビデの口を通して預言している。この聖書の言葉は、実現しなければならなかった(1:16)」。だとすればユダは、預言が実現するために「裏切り役」を負わされた、いわば犠牲者。それなのに「はらわたがみな出て」完全に消滅してしまうなんて、あんまりじゃないか。

「百二十人ほどの人々が一つになっていた(1:15)」彼らに、ペトロは「兄弟たち」と呼びかけた(1:16)。R.ダンパーによれば「親密に認識しうる最大人数」は 150 人程度だそうだ。大脳新皮質の大きさに比例し、文明や文化による差異はないらしい。「百二十人」とは十二使徒(イスラエル十二部族)の十倍数だが、「心を合わせて祈る(1:14)」初期の信仰集団が、徐々に飽和状態に近づいているのかもしれない。

神は「父」だから、従う者同士は「兄弟(姉妹)」。ペトロは信頼する兄弟全員に、思いを絞り出すようにして「ユダはわたしたちの仲間の一人であった(1:17)」と語った。仲間を裁くつもりではなく、むしろイエスから「同じ任務を割り当てられた(1:17)」兄弟として、ユダの痛々しさを語った。

聖霊の預言であると同時に、自らの意思で裏切りという罪を実行したユダ。この「あれかこれか」は 120 人の兄弟自身の問いとなり、キリスト者である私たちもこの問いを負っている。①「ユダを使徒に選んだイエスの見る目のなさ」。②「神はユダの行為を押し留められないのか」。③「ユダが裁かれるのなら他のキリスト者の罪はどうか」。ペトロの証言は兄弟たちの口にも苦かっただろう。

神は、人間一人ひとりに全き自由を与え、その自由がどう行使されようとも、救いの業を必ず為す。ペトロは自分を勘定に入れて兄弟ユダを語った。だから自ら葛藤することなく、傍観者として「ユダも救われる」とか「ユダは救われない」とか、自分が聞きたいように解釈するのは、信仰ではない。

「神の慈しみと厳しさを考えなさい。倒れた者たちに対しては厳しさがあ、神の慈しみにとどまるかぎり、あなたに対しては慈しみがある。もしとどまらないなら、あなたも切り取られるだろう(ロマ 11:22)」。これは「接ぎ木」の比喩だが、ユダのように私たちにも「慈しみにとどまらない自由」、救いに「接ぎ木されない自由」がある。しかしそれ以上に、「神の慈しみ」を無償でいただく自由がある。

「わたしの信頼していた仲間、わたしのパンを食べる者が、威張ってわたしを足げにします(詩編 41:10)」。ペトロは、兄弟ユダの痛々しさを胸に「主よ、どうかわたし(私たち)を憐み、再びわたしを起き上がらせてください(41:11)」と祈っただろう。私たちに与えられる全き自由は、無明をも抱える。

神が与え給う自由は中途半端なものではない だから悪を尽しての滅びにさえも開かれている自由だとすれば世の創造は神の覚悟なのか ユダの動きは本意だったが それに応じて十字架で救う

本日礼拝後に役員会があり、今日はカレーの日です。どなたでも遠慮なくお召し上がりください。
6/4(水)1:00~3:00 教会カフェを開店。牧師の動き:6/4 午前中は甲府の YMCA で聖書のおはなし。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。